

謹賀新年



大阪いずみ市民生活協同組合

理事長 勝山 暢夫

年頭にあたり、組合員の皆さま並びにご家族の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

また、お取引先や関係諸団体のみなさまには、生協の事業・活動へのご理解、ご支援に厚くお礼申し上げます。

昨年は、被爆・終戦から80年となる節目の年でした。大阪いずみ市民生協は、47年にわたり、組合員の皆さまから貴重な戦争体験を募集し、親子で学べる平和の学習資料、『戦争体験集』として発行してまいりました。昨年は、過去の体験集のうち12編をイラスト付き音声版としてホームページ「私の戦争体験アーカイブ」に公開し、平和への思いを次世代へ伝える取り組みを継続しました。また、皆さまの思いを広く活用していただけるよう、各市町村の教育委員会への平和学習ツールとしてのご案内や、国立昭和館や堺市立図書館にバックナンバーを寄贈しました。これまでに寄せられた体験は527編にのぼります。思いを寄せてくださった皆さまに心より感謝申し上げ、大切な記録をこれからも語り継いでまいります。また、店舗では折鶴メッセージを募集し、約3万羽もの折鶴が寄せられました。平和への願いや思いのこもった折鶴は広島へお届けし、平和の輪を広げる一助となりました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

さて、食品や生活雑貨品など生活必需品の物価上昇が続き、2025年は2万品目以上で値上げとなるなど、家計への影響が深刻化しています。総務省の家計調査では2024年のエンゲル係数（二人以上世帯）は28.3%と、43年ぶりの高水準となり、食費が家計を圧迫する状況にあります。こうした状況の中、昨年4月には、おおさかパルコープ、よどがわ市民生協、JA大阪中央会や森林組合と連携し、「一般社団法人にわフードバンクしっかりたべや」を設立しました。子ども食堂やひとり親家庭・留学生支援などの非営利団体を対象として、食品配布団体登録の相談を開始しています。また、仕分け・配送ボランティアも募集しています。生協は、助け合いの組織です。今年も組合員の皆さまとのつながりを大切に、生活協同組合ならではの活動を考え行動してまいります。

昨年は「とまとちゃん福祉基金」に、組合員およびお取引先より2,500万円を超える募金寄せられ、子どもの居場所づくりや学習支援など、地域の団体を支援することができました。さらに、11店舗で実施したフードドライブ活動では、年間5,000kgを超える食材を地域団体に橋渡しすることができ、皆さまのご厚意に心より感謝申し上げます。

昨年よりわかやま市民生協との連携を含めた新たな運営体制についても協議をすすめており、今後も組合員のみなさまにとってより良い生協運営をめざしてまいります。

世界情勢の不安定さが続く中ですが、平穏な日々が世界中に戻るよう心から願い、組合員の皆さまとともに地域を支える活動をすすめてまいります。この一年が、皆さまにとって実り多い年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2026年 元日